

「ね、へたなのは多分、練習が足りないからだよ。よし、おじさんと一緒に練習をやるつよ。明日から毎日、この公園でやるつよー」  
初めて出合ったおじさんにこう話かけられて、ケンちゃんは、なんと返事をしていいのか？わかりませんでした。

すると、その事を察知したまもる君が言いました。

「おじさんの名前はなからまもる。きょうから君のともだちだ、だからまもる君でいいよ。君の名前は？」  
「さかもとけん。ケンちゃんがかこう答え



「ケンちゃんかー！いい名前だな！よしー今からふたりはともだちだ！さあ、今日はもう帰って明日からここで、練習をしようよー」とまもる君が言いました。公園の遥か遠く、西の山に大きな夕日が沈んで行くところでした。ふたりはガツチリと握手をして別れました。

そして、次の日から、チームの練習が終わってからの公園でふたりだけの練習が始まりました。  
「ケンちゃん、行くぞー！ホラー！」「よーし！こい！」「まもる君、行くぞー！ほらー！」「よーし！こい！」  
こうして、ふたりの練習は3カ月程続きました。ケンちゃんはメキメキと上手になり、遂に選手に選ばれました。また、この間に、まもる君のお仕事も決まりました。まもる君は、一度会社をやめていきましたが、今度は、遠くの町の大きな会社に行く事になったのでした。  
今日は、ふたりにとって最後の日です。ケンちゃんは、まもる君と初めて出合ったあの公園で、待っているのです。

## 創作童話募集

- ◆瑞穂町に在住、在勤、在学の方ならどなたでも結構です。(ペンネーム可)
- ◆字数は400字詰め原稿用紙1〜2枚程度です。
- ◆ご興味のある方は議会事務局までご連絡ください。

## 編集後記

情報は、一般的に文書によって伝達されていきます。本誌「議会だより」は、文書により表現・構成された情報伝達の媒体です。私達委員は、議会の内容のみを端的に編集しておりますので、当然、議会の内容全てを表現できるものではなく、歯がゆさを覚えることもあります。  
今後、さらに読みやすく親しみやすい「議会だより」を目指して参ります。皆様からのご意見、ご感想を心からお待ちしております。

(小野 芳久)